

長久手市みんなでつくるまち条例  
自治会連合会、区会、自治会へのアンケート  
結果報告書

令和5年6月

長久手市

## 目次

I	調査の概要	2
II	回答団体の概要	3
III	調査結果	4

## I 調査の概要

### 1. 調査の目的

みんなでつくるまち条例第 21 条には「5 年を超えない期間毎で条例の検証」が定められており、5 年目となる今年度、検証作業を進めているところであり、検証にあたり、地域活動団体（自治会、区会）の現在の活動の状況やご意見等をお聞きすることを目的に実施するものである。

### 2. 調査対象者

令和 5 年 1 月時点の自治会連合会長及び区長、市政協力員（計 1 1 1 名）

### 3. 調査期間

令和 5 年 1 月 1 9 日から令和 5 年 1 月 2 7 日

### 4. 調査方法

配布：郵送（一部直接手渡し）

回収：郵送（一部直接持ち込み）

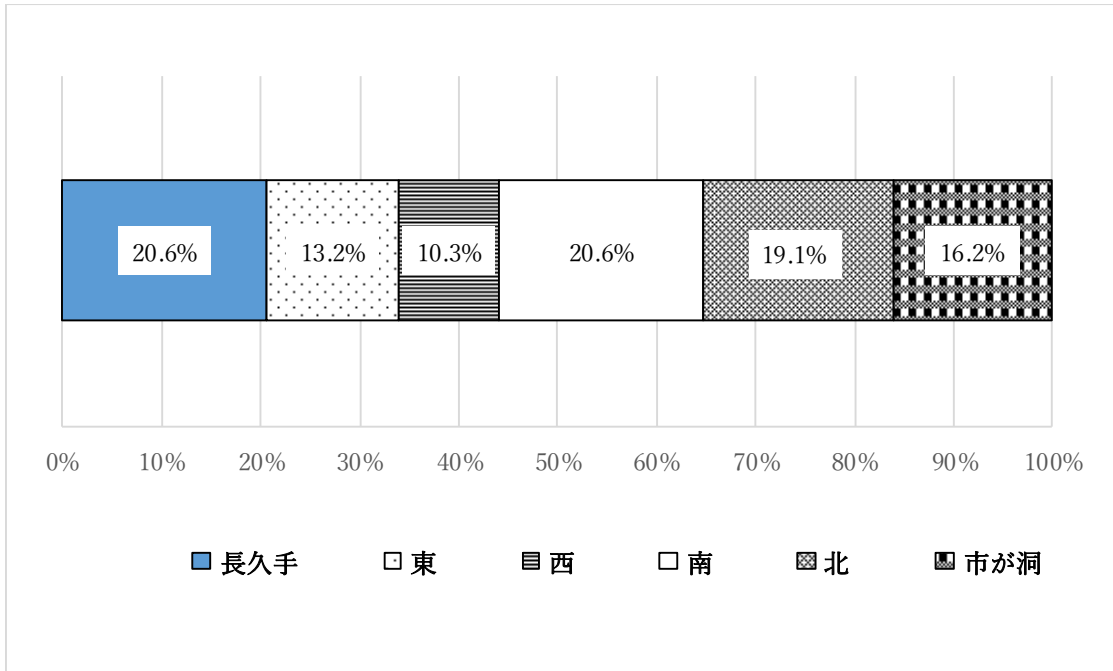
### 5. 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
111 通	73 通	65.7%

### 6. 調査結果の表示方法

- ・比率はすべて％で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、合計は必ずしも 100％にはならない。
- ・基数となるべき実数はサンプル数（ $n = \bigcirc\bigcirc$ ）として掲載した。したがってサンプル数を 100％として算出している。
- ・複数回答が可能な設問は、その項目を選択した回答数が全体の何％を占めるのかを示している。そのため、各項目の比率を合計しても 100％にはならない。
- ・本報告書中の図表の見出し及び文章中において、設問及び回答選択肢などの表現は一部省略している場合がある。

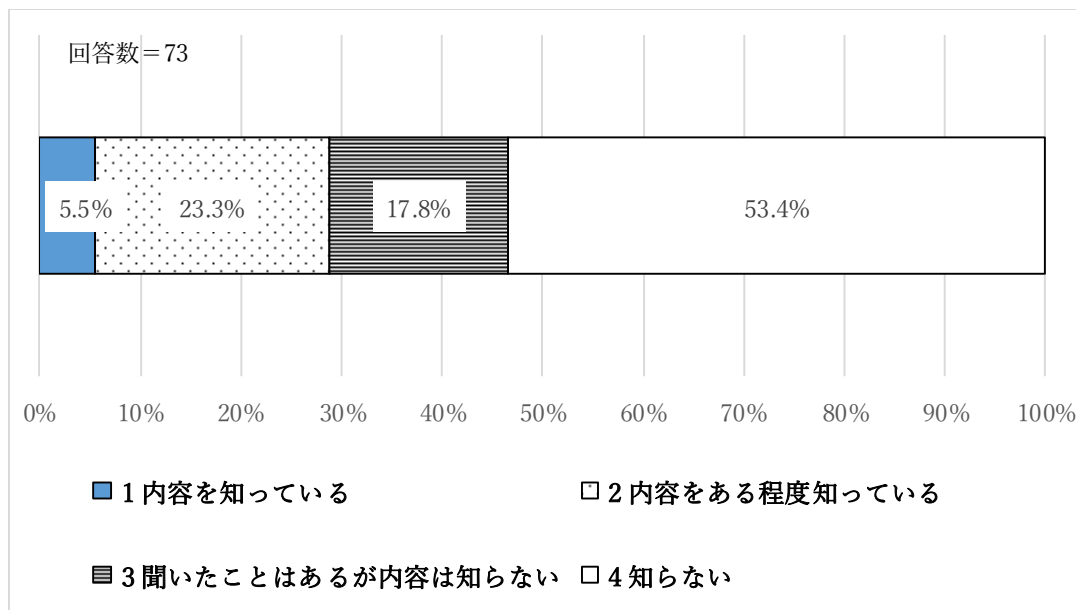
## II 回答団体の概要



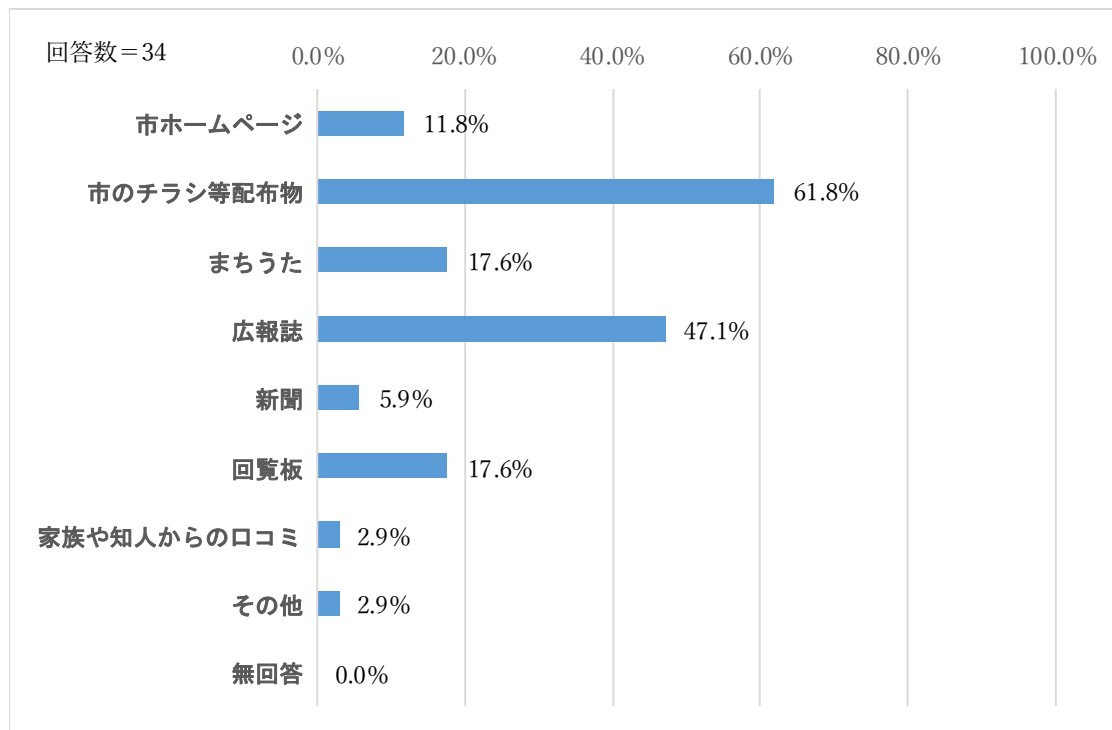
### Ⅲ 調査結果

#### 長久手市みんなで作るまち条例(通称:みんなまち条例)について

問2(1):「長久手市みんなで作るまち条例」を知っていますか。



問2（2）：何を通じて知りましたか。【〇はあてはまるものすべて】

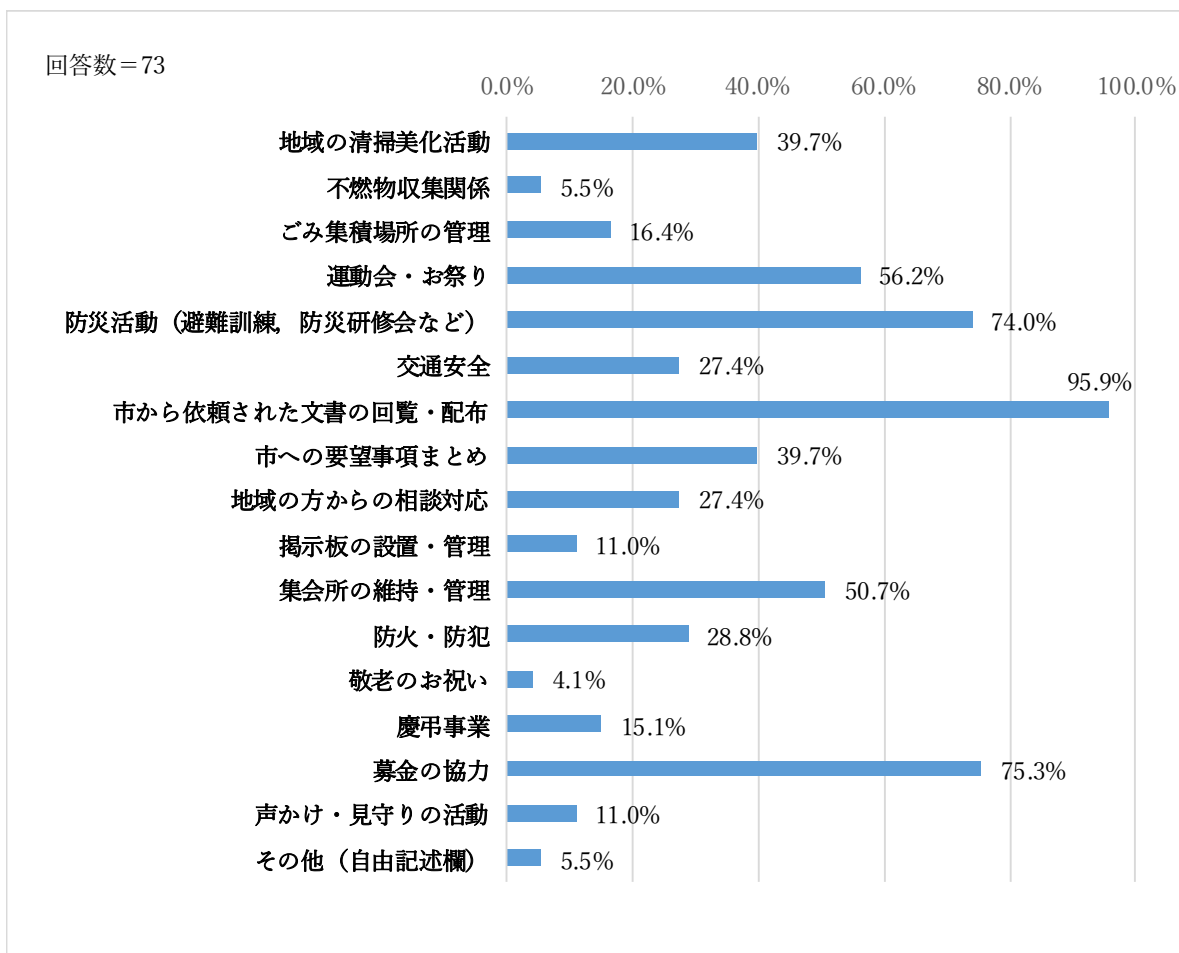


【その他の回答抜粋】

- ・ワークショップ
- ・ワークショップ等に参加した

**貴自治会等の活動の現状について質問させていただきます。**

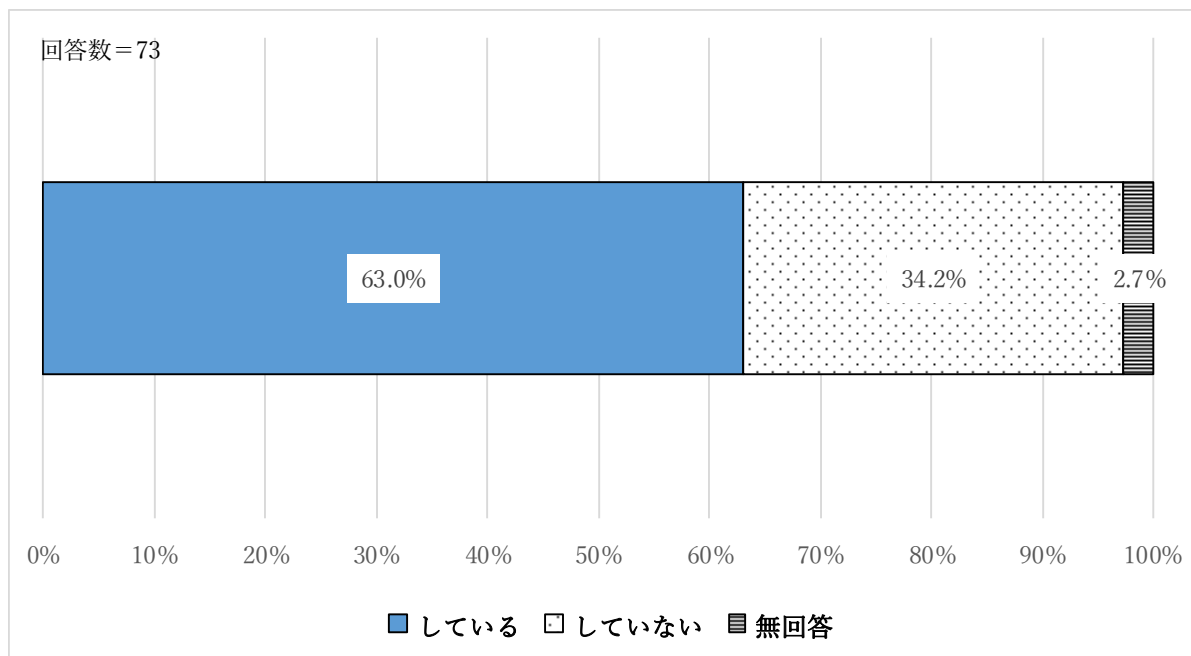
問3：貴自治会等は、主にどのような活動をしていますか。【〇はあてはまるものすべて】



【その他の回答抜粋】

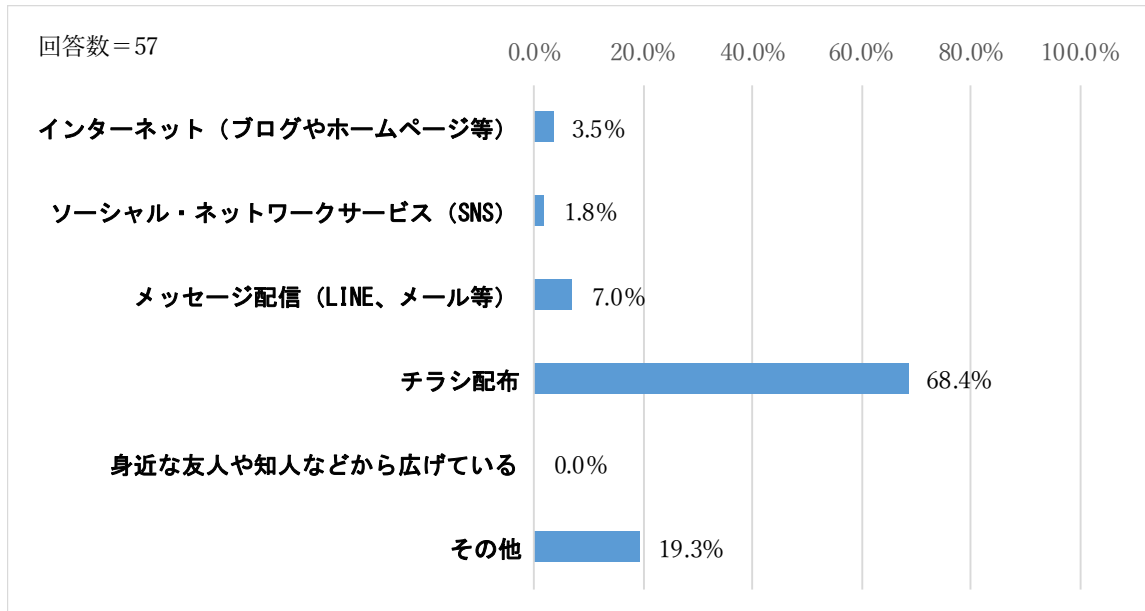
- ・交流イベント（ハロウィン、お月見どろぼう）
- ・自治会費が集会所の電気代にほとんど使用され、その他の自治活動ができる予算がない。
- ・コロナ禍における活動は極力控えた。特に集金業務（町内会費、連合会費、募金など）は対面を避けるため未実施。
- ・まちづくり協議会の指導のもとに活動の方針の理解、具体的なイベントの参加に活動しているが、1年の交代による新人の教育が重要と思います。新人（自治会長や組長になりたての方）にやる気を出させる方法が大切。

問4（1）：貴自治会等は、問3の活動について市民に参加を促す取組をしていますか。





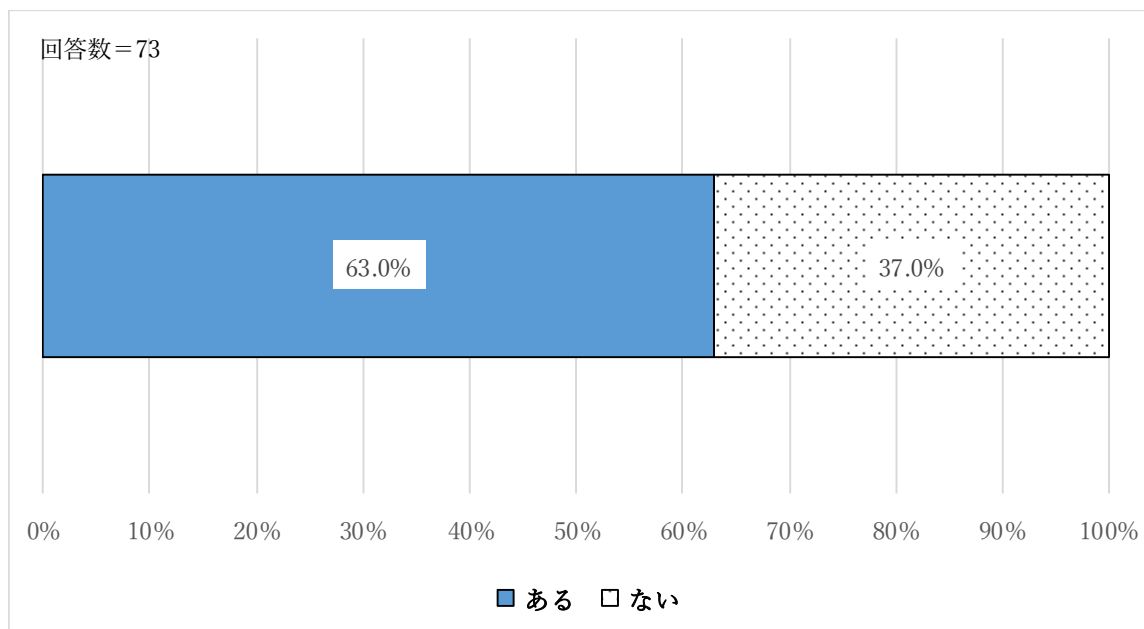
## (2)：どのような方法で周知していますか。【〇は2つまで】



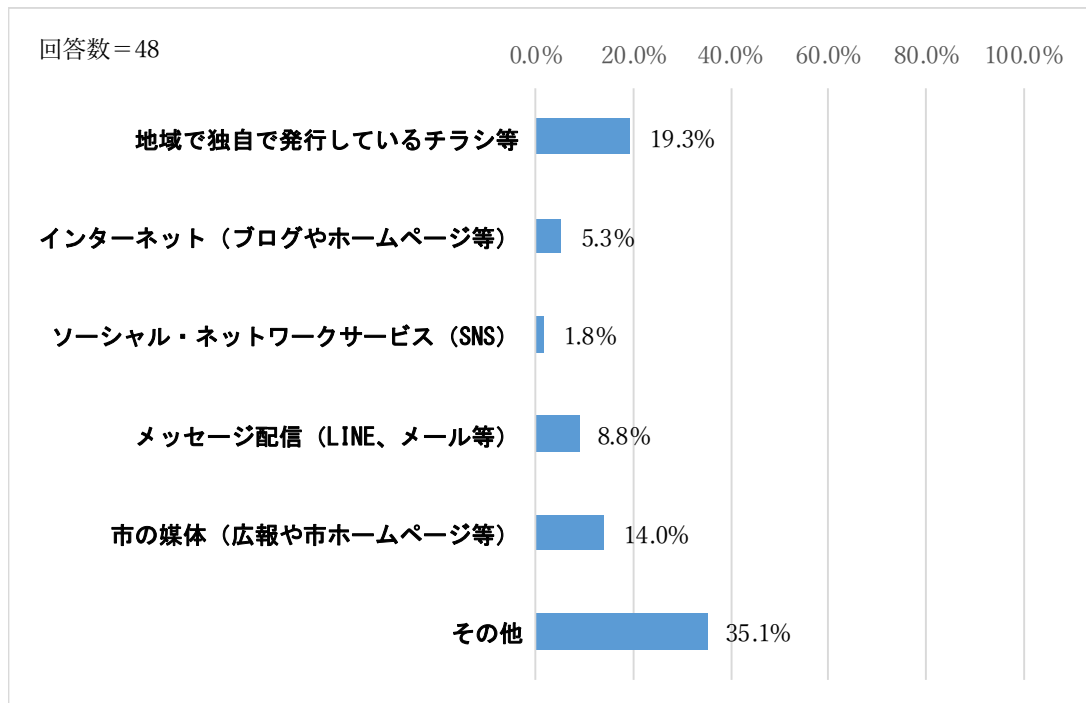
### 【その他の回答抜粋】

- ・ 回覧 (10人の方から意見)
- ・ まちづくり協議会に協力
- ・ 組長さんへのお願い
- ・ 岩作区 (1分会から8分会) 分会の役員をお願いする呼びかけ
- ・ 玄関エントランスへの掲示
- ・ 回覧板以外にスマホのSMS ショートメールを活用

問5：貴自治会等の情報（活動内容や運営状況等）について周知していますか。



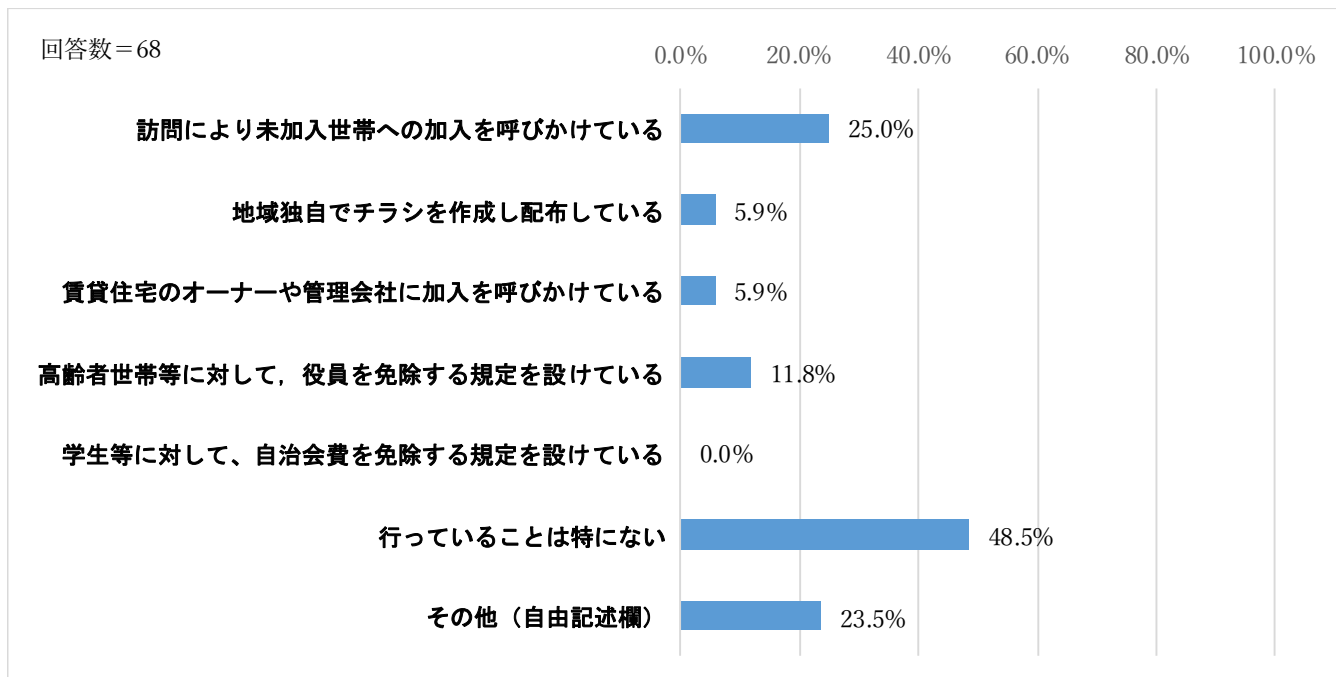
(2)：どのような方法で参加促進していますか。【〇は2つまで】



【その他の回答抜粋】

- ・回覧（13人の方から意見）
- ・活動報告を作成
- ・各分会の委員を通して広報
- ・理事会の議事録の紙配布
- ・自治会総会にて報告
- ・マンション掲示板
- ・各組長を通して実施
- ・月の第3土曜日に役員の会議があり、活動書類を渡して広報活動を行っている

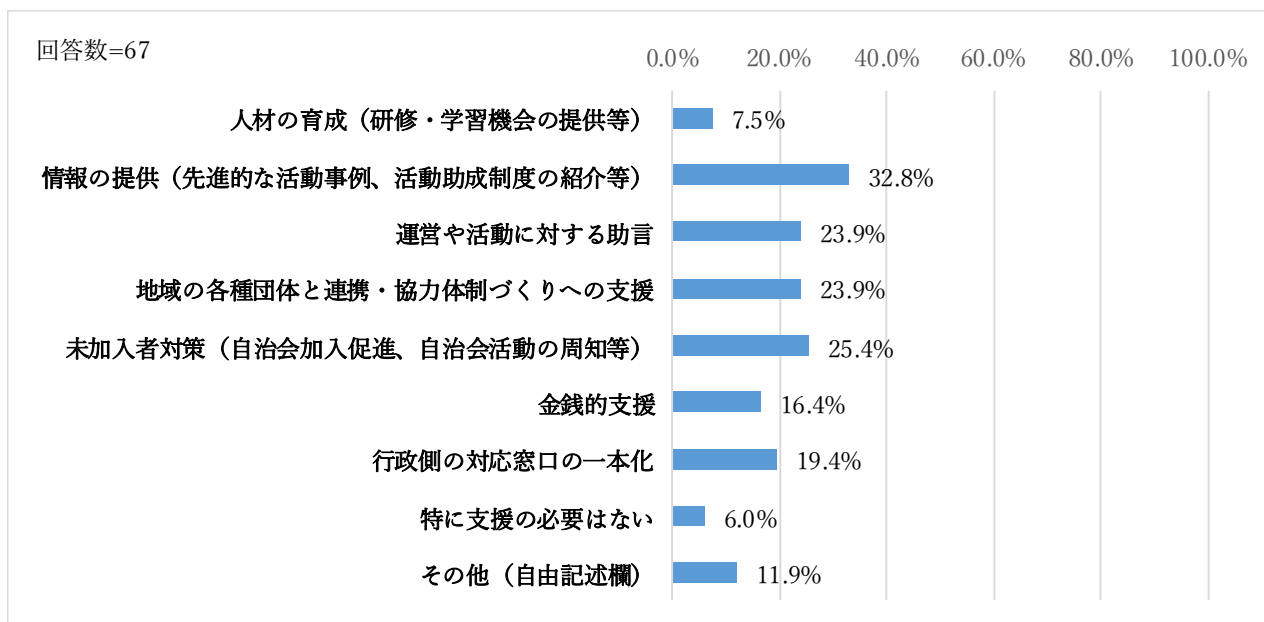
問6：自治会への加入促進のために行っていることはありますか。【〇はあてはまるものすべて】



【その他の回答抜粋】

- ・新しく住まれた方には案内している
- ・転入時に訪問勧誘している未加入世帯には年度末に意向の確認をしている
- ・高齢者世帯が増加している、役員改選時には苦勞する
- ・QRコードを作成してホームページへアクセスできるようにする
- ・組長が勧誘を行う際のチラシ作成などの後方支援を自治会長が行う
- ・今年度、未加入世帯に対してチラシを作成し配布予定
- ・全世帯が加入必須
- ・加入促進の資料がない
- ・検討中
- ・よく知らない
- ・全員加入の決まりがある
- ・まちづくり協議会の行事にて自治会で集まる際に自治会の名前入りウエットティッシュを配布
- ・加入するとメリットはあるのか疑問
- ・高齢者世帯等に対する規定について、規定は設けていないが個々の事情に対する配慮をしている
- ・会費の減額
- ・マンション全員参加
- ・たつせがある課のチラシを配布
- ・現状維持が一番だと思います。減少をくい止めるだけしかできない。
- ・役員による加入促進等訪問

問7：地域の活動を行う上で、長久手市からどのような支援を希望しますか。【最も必要と思う支援を〇は3つまで】



【その他の回答抜粋】

- ・自治会活動のノウハウの継承。人的（人材）支援。
- ・参加したい人だけ参加する形にしてほしい。しんどい！
- ・時代に合わせて募金活動の簡素化
- ・市民課とたつせがある課の情報の共有が必要ではないか、市政協員への転入者の紹介等
- ・自治会役員、組長の負担を最低限にしてほしい(今もそれほど負担は多くないと思う)。
- ・自治会に入る必要性をPRしてほしい
- ・高齢世帯への配慮、支援
- ・自治組織の廃止または縮小。市側が各自治組織を評価、指導できる条例の制定。
- ・住民がどんな地域活動に参加しているかわからない
- ・募金活動（社会福祉協議会、赤十字、破赤い羽根）の必要性があるのか？疑問あり。

## 問8：その他ご意見がございましたらご記入をお願いします。

当自治会は2022年春に発足したが、若い世帯が多く、自治体の概要や必要性を知らない人が多く、様々な苦勞があった。特に、「自治」という概念がない人が多く、行政に依存した生活が普通だと考えているようだった。自治による目に見える効果がないと、加入してくれた人も離れていく気がする。当自治会では、防犯カメラの設置、回覧板の電子化などの要望が多いため、これらを後押しする助成金や勉強会などが開催されると助かる。

これからも少子高齢化が進むため、それに対する福祉の具体的な政策をしっかりと進めてほしい。

転入者の増加、意識の多様化など、市民主体のまちづくりとは言うものの、市民の主体がどこにあるのか分かりづらい。大変ではあるが、誰もが笑顔で暮らせるまちづくりを推進されることを期待している。

年度ごとに各長の交代のルール化。募金協力活動は組長の負担になっているのではないかな。各自治会では募金というより、集金のイメージが強いのではないかな。

最近大きな防災倉庫が各所にあるが、これらは長久手市民対象ではないと聞いた。自治会には自助を求めながら、市民対象ではない倉庫を作ることに對し、とても不思議に思う。

コロナ禍で情報共有や引き継ぎがうまくいっていない。その仲介役をしてくれるとよいと思う。

参加したい人だけにしてほしい。そこに住んでいるからといって参加しなくてはいけないのはしんどい。正直迷惑である。

カーブミラー、街灯など、自治会会員から市に要望を出したものに対して、直接、市から返答をもらえたらと思う。

仕事をしながら、自治会の運営を行うことは限界がある。コロナ禍でなくても、自治会への参加が少なく、これからも自治会そのものへの参加は減ると思う。

高齢者と若者とのギャップが大きくなるため、デジタルツール活用を前提とした活動にすべきだと思う。・連合会と協議会が複数あって、非常にわかりにくい。組織は統一した方がよい。または、デジタルツールを使い、全員に見えるようにしないと理解が進まない。

今回のアンケート内容をメールで配信したり、市民から情報発信をできる仕組みを作ったりすることで、①市が提供する情報量の増加や②市民と市の双方向の仕組みの構築を検討してはどうか。

当自治会は自治会連合会に加入し、運営は連合会が行い、自治会単独の活動は地域清掃のみである。まちづくり協議会との共存について色々な課題があるため、市から連合会へ、

まちづくり協議会と連合会の共存について助言いただけると助かる。

カーブミラーの設置について、方法の改善を求める。一個人宅に直接カーブミラー設置申請の了承を求めることは困難である。安全のためのカーブミラー設置のため、市の職員さんに動いていただきたい。

みんまち条例の長久手市独自のまちづくりのルールが今回のアンケートで不十分だと思う。みんなのまちづくりの3つのこと「情報、市民参加、協働」をアンケートに書くことができなかった。検証作業には具体的な質問で行ってはどうか。（例えば市民参加）市政協力員アンケート結果（R4.8）について、内容が十分、今回の検証作業の「まち条例」の質問に合っていると思う。

- ・カーブミラーや街路灯の設置に関するアンケートがあったが、要望書が1部しかなかった。人数分印刷するのが手間だった。
- ・防災訓練について、あのチラシの内容ではやりたいと思う人はいないと思う。文字が多すぎて誰も読まないと思う。
- ・集会書等の修繕費申請の期限が短い。初めて自治会長をやる人からしたら無理がある。どこか修繕してほしい箇所があるかと全員に聞く時間がない。
- ・みんまち条例の市の方針を全員に徹底させてほしい。
- ・大切にしたい3つのことについて、「情報」の共有がされていないと思う。どのように共有しているのか。
- ・「市民参加」について、いつ、どこで、どのように、何に参加するのか。
- ・「協働」について、目的を知らないためどのような方向に進んでいるのか分からない。一緒に考える場はどこなのか。
- ・人口減少、高齢化、災害などに備えるとあるが、みんまち条例があることで、これらの問題が改善されているのかが実感できない。何か大きな目標1つに絞った方が力を注ぐことができるのではないか（大切にしたい3つのことについても同様）。
- ・市役所の方が思っている以上に市民は知らないと思う。高齢の方はホームページを見ないのではないか。
- ・期待しています！

高齢化や就業の方が多きことなどにより、地域活動が困難になってきている。

未加入者対策が急務と考える。高齢者世帯の脱会、親子世帯で親世帯が加入しているため子世帯は未加入であること、セキュリティの高いアパートやマンションなどへの加入依頼が困難であることが問題と考えているが、打開策がなく、悩ましい。

家の前や歩道にゴミを置かないことはできないか（歩行者通行迷惑、美観などの問題）。

N-バス西部線について、乗車距離、短縮は無理か。
子どもの育成のため、地域活性化でまちを盛り上げ、本当に住みよい地域にしてほしい。人工芝グラウンドを作って、子どもからお年寄りまでが憩える場所を作ってほしい。三好の黒笹グラウンドを参考に運営してほしい。
先日、地域内にある法人（店舗）などへ加入促進をしてよいかと連合会へ問合せをしたが、2か月を過ぎても返答がなかった。双方の利害を考えるにあたり、例えば、加入していただけたら地域内のチラシ配布を回覧板でできるようになるなどすれば、加入促進となり、災害時にお互いに助け合えることにもつながるのではないかと思う。何もないときは助け合いの必要性はないが、何かの折にお互いが助け合うことのできる地域がそれぞれの地区でできれば良いと思う。
住宅が増えて、見通しの悪い道路が増えた。カーブミラーの申請など、市民から受ける前に、調査する市の職員がいても良いのではないかと思う。子どもが多い地区であるため、事故が起こらないか心配である。
自治会加入は自由意志だと思う。現状は、会費募金の徴収と回覧が主で、回覧物は多いがあまり見られていないのではないかと感じる。市の思いと現状との乖離があるのではないかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイレントマジョリティの意見収集は大事であると思う。ある企業の顧客は96%がサイレントマジョリティとされている。一部の声の大きい市民の意見に振り回されることのないようにしていただきたい。声なき市民の声に謙虚に耳を傾けて、市民の将来を考えて運営することは大きな責任である。「声ある声」にならないことを切望する。</li> <li>・デジタル化に伴うネット弱者の救済を求めたい。サイレントマジョリティの意見収集の解決策の一つでもあるが、市民全員にスマホ等のネット環境の促進してほしい。市民の生活、緊急情報、健康に寄与するのは周知の通りである。スマホは現代に必須のアイテムであるため、市民普及率100%を目指し、高齢者と若者の、自治会加入者と非加入者の、市民と市の乖離をなくしてもらいたい。</li> </ul>
市側と自治会側との役員名の（役職名）呼び名の統一が出来ないか、、、 市政協力員→自治会 など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の市からの配布物 地区が広いため、8件の組長宅に届けるのに40分くらいかかります。ご夫婦で仕事をしている方、高齢者の為にも市から組長宅に送付していただきたいと思います。</li> <li>・観光交流協会発行の医療冊子の配布依頼について 「市から頼まれたから配ってくれ」という方がみえました。依頼もなく市へ問い合わせ</li> </ul>



<p>をしたら「市ではありません」とのこと。区長さんから交流協会依頼とわかりましたが、冊子が分厚く、人数の多い組は依頼の仕方が雑です。</p>
<p>市からの回覧とまちづくり協議会からの回覧を一本化してほしい。</p>
<p>長久手市と自治会の関係を明確にしてほしい。市から依頼される仕事が、本来は市がやるべきものであることが多いと思われる。自治会役員が毎年入れ替わるので、矛盾が指摘しづらいのではないか。</p>
<p>窓口を一本化して欲しい・自治会への加入のメリットを市側からも提供して欲しい。</p>
<p>YouTube で赤い羽根共同募金と Colabo 騒動など、本当の話ですがご確認してほしい。</p>
<p>餅つきの際、セッティング、人員配置など、記録として残し、毎年行うのなら、セッティング等はある程度固定しても良いのではないか。前日の準備に出た人のみが分かっている、当日のみしか出られない人は、進捗状況や自分の動きが分からない。子供会主催だったのかも分からない。各所にリーダーをおいて、その人に聞けば分かるシステムにしてほしい。</p>